

第 1 回及び第 2 回懇話会における意見等を踏まえた論点整理

これまでの成果

- ・市内全域（79校区）でコミュニティ協議会の設立が完了
- ・校区公民館運営審議会当時に比べ、「安心安全」や「福祉」に関する地域団体との連携が充実

現状を踏まえた今後の方向性

1. 協議会という組織と活動目的の再確認

- | | |
|---------|-------------------------------|
| <現状> | ◇ アンケートからみえる“ありたい姿”と“行動”のずれ |
| <やるべき事> | ◇ 協議会という組織と活動の目的を全員の共通認識として定着 |

2. 地域住民の参加・参画の促進

- | | |
|---------|---|
| <現状> | ◇ 参加・参画するメンバーの固定化 |
| <やるべき事> | ◇ 若年層のコミュニティ離れ
◇ 時間や場所に縛られない多くの人に関われる仕組みづくり
◇ 若年層の参画の推進 |

3. リーダー及び担い手の育成

- | | |
|---------|----------------------------------|
| <現状> | ◇ 地域課題や意見収集方法の多様化に対応するための学習機会の不足 |
| <やるべき事> | ◇ 役員力量形成 |

4. 行政の連携・協力体制の充実

- | | |
|---------|---|
| <現状> | ◇ 関係部局との必要に応じた連携 |
| <やるべき事> | ◇ 協議会の位置付けの整理
◇ 校区公民館運営審議会が前身の組織である特徴を生かした地域と学校・学習をリンクさせる協力体制の構築 |

今後必要な取組

1. 協議会という組織と活動目的の再確認

- | | |
|--------|----------------|
| <協議会> | ◆ 協議会内での対話の推進 |
| <鹿児島市> | ◆ 協議会という目的の再発信 |

2. 地域住民の参加・参画の促進

- | | |
|--------|---|
| <協議会> | ◆ 地域住民参加・参画推進のためのICT活用
◆ 地域の様々な主体の取り込み |
| <鹿児島市> | ◆ 好事例の共有やガイドラインの作成
◆ コーディネーターによる課題解決型の支援 |

3. リーダー及び担い手の育成

- | | |
|--------|------------------------|
| <協議会> | ◆ 役員育成 |
| <鹿児島市> | ◆ コーディネーターの育成及び学習機会の提供 |

4. 行政の連携・協力体制の充実

- | | |
|--------|--|
| <鹿児島市> | ◆ 行政内部の連携強化（教育、福祉、安心安全等）
・ コミュニティスクール導入に併せた協議会と学校との連携推進 |
|--------|--|